	年 月	日()天気()				
	町田市立		小学校			調理主任	栄養士	学校長
	学健	個人別表参照	<u> </u>	, ×	Ŧ			
	学 校給 食 健康状態	該当者が出た	場合の対応			1		
		м — н и и и и и и и и и и и и и и и и и и	g) ロ マン ハ j / i i i					
		ロ調理会内の	清掃・清潔状態は。	しょう としょう という とり	%)			
作				よい。(温度 ℃ 湿度 要な物品等を置いていない。	70 /			
		□調理機械・機器・器具は清潔である。 □機器・器具の保守、故障の有無、故障の機器及び箇所名を確認した。						
	施							
業	設	口冷蔵庫(10℃以下) ℃ 冷凍庫(-20℃以下) ℃ 牛乳保冷庫(10℃以下) ℃						
	• 設	□食器具・容器や調理用器具は乾燥しており、保管場所は清潔である。						
	備		.場所は清潔である					
	DIG.	口床、排水溝は清潔である。						
		□手洗い施設の石けん液、アルコール、ペーパータオル等は十分にある。(便所も含む)						
		口冷蔵庫内は整理整頓され、清潔である。						
		口ねずみ及び	はえ、ごきぶり等律	i生害虫は出ない。				
前	使	口作業前に十	分(5分間程度)流	<u></u>				
	用			、味を確認した(異常なし、異常	きあり)			
	水	□遊離残留塩素について確認し、記録した。(0.1mg/L以上あった)(mg/L)						
			従事者が立会い受		/\ \			
	検 収	□品質・鮮度・	品温・異物の混入	、食品表示等を十分に点検し、検	収表に記録し	_t=。		
				忍してから使用した。		~		
	48		衛生的な服装であ					
				や調理室内に立ち入っていない	'о			
		ロエプロン・履	物等は下処理専用	を使用している。				
作	下 処	□野菜類∙魚ゥ	介類•食肉類等食品	ごとに専用容器・器具で下処理				
		口下処理終了		:浄・消毒を確実に行った。				
	理		水で十分に洗浄し					
			た容器を直接床に					
	調 理 時		とさないように配慮					
		□魚介類・食園	肉類・丱殻等を取り	扱いには使い捨て手袋を使用し、	、手指は洗浄	・消毒した。		
		山作業区分し	とに手指は洗浄・消	再した。 に専用のものを使用した。				
			6号は良品・処理別 i切に温度管理した					
				。 热し(75℃、1分間以上)、その温原	まん はいまし はいしょう かいしょう はいしょう しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしん しゅうしゅう しゅう しゅうしゅう しゅう	注		
業		口加熱加理後	冷却した食品は、	80(パラン、17)間以上7、その温度 適切に温度管理し、過程ごとの温	とと時間で記り	ශし/こ。 7録し <i>た</i>		
_				、味を確認した.(異常なし、異常		5世界(07)こ。		
	使用水	□货加水砂州	素について確認し	、 、記録した。(0.1mg/L以上あった)(mg/L)			
		□原材料を採		, HONNEY	, , <u></u>			
	保 存			0g程度採取した。	給食室のご	<u>ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー</u>		
		□釜別に採取	した。(煮物・汁物・	0g程度採取した。 ごはん)	□□部外者が立			
	食	□保存食容器	(ビニール袋等)は	青潔である。	()		
中	K	□保存食採取	容器は清潔である	0	□部外者は衛			
		□乾燥しない。	ように完全密封し、	-15℃以下の冷凍庫に保存した。	で立ち入った			
	配 食		機には、ふたを使り	申した。				
		口素手で配食						
			床に置いていない。					
		口配食時間は		図の温度 ℃ 湿度	%)			
作業	配			を防止するため適切に保管した				
	膳			れるよう配膳にかかる時間は適ち	りである。(2時	f間以内)		
	検食	口検査結果について時間等も含め配慮した。 口下痢をしている者はいない。						
	給	山下猁をしてい	いる者はいない。					
	食 当 番		。	いない。				
			装をしている。					
	調	口手指は確実						
	器理	口度品・良缶(の下洗は適切に行っ	O/た。				
	の機	山洗剤の涙度	及り使用液重は過	切である。				
	洗器	口良品 良田(の洗浄,消毒は確実	に行った。				
	浄・ ・器	山調埋機器,希	異の洗浄,消毒は	催実に行った。 ほのスニスのことの 34 ました				
	消具	口分解できる語	調理機器・番具は、	使用後に分解し洗浄・消毒した。	+ t. > 460 H . 4	1- + 261-2-		
	毒・	口态具,谷岙等	Fの使用後の洗浄・	消毒は、すべての食品が調理場	内から搬出さ	れた俊に行つ	<u> </u>	
	食	+		よく乾いている。(翌日確認)				
	72			域に持ち込んでいない。				
	菜 処と 理廃 の		あきびん等は清潔に	処理されている。				
後		口残菜の処理	は適切に行った。					
				行った。				
		□残菜容器は						
		口厨芥置場は						
	/ /	口食材料は整	理整頓されている。					
				生害虫はいない。				
1			、湿度の状態は良い					
1		I口給食物資以	外のものは入れて	ない。				